



「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ

うみのなかにいごかながいました。あるひうみのなかにくろいさかながおなかをすかせておよいでいました。いっぴきだけにげることができました。あるひそのさかながほかのさかなとであいました。そこでそのいっぴきがいつしよにあそぼうよといいました。だめだよあのさかなにみつかったら…。じゃあかんがえなくちゃ。そうだ、みんなでおおきなさかなになろう。



(出版社: 好学社)

この本のこころがすき!

えがきれいだからすきです。いろがきれいだからすきです。かわいいからです。さかながしゃべるところがすきです。かんがえるのがすきかったです。さかながいっぴきしかないようなきがしました。であったのがすきかったです。わたしがさかなだったらくろいさかなにたべられるとおもいます。みんなでさかなになったのがすきかったです。きれいにかけるところがすきです。

本の名前

スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし

本を書いた人

レオ・レオニ / 谷川 俊太郎 (訳)

ひとりぼっちになってしまったスイミーが、ほかのお魚と出会い、そして考えることで大きな魚に立ち向かっていくよ。あざやかな色使いもすてきだね!

